

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わかば園		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 18日		～ 令和7年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 18日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・2つのグループに分ける事で、手厚い支援(職員体制)で療育を行っている。	・専門療法士によるSSTを取り入れている。 ・様々な体験ができるように内容を工夫している。 ・療育後は、それぞれのグループに分かれて、保護者に写真や動画をういながら活動の様子をお伝えしている。	・SSTや課外活動等を通して、友達関係や社会性等が身につくように充実した内容、参加したいと思える内容を工夫していく。
2	・利用児は本事業所の児童発達支援の卒園児である為、児童の特性や性格等を理解して対応することができる。	・児童発達支援通所時の姿を踏まえて、職員間で現在の様子や課題等を話し合い共有している。	・今後も個々に合わせた支援を充実していけるよう、職員体制を整えていく。 ・個々の成長を把握しながら、些細な事も話し合い、情報を共有し支援を行っていく。また、保護者支援に努めていく。
3	・課外活動を取り入れている。	・各学年に合わせた課外活動を取り入れている。	・課外活動により、様々な体験を経験する中で社会性が身につくよう工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・土曜日(第1・第3・第4)のみの開所の為、一人につき月1回の利用であり、利用児の減少が見られる。	・利用料の有料化が始まり、利用児童数への影響が心配される。	・月に1回の利用でも、登園(送迎)して下さる方の為に、活動に期待をもって登園できるように療育内容を工夫していく。
2	・安全計画に基づくマニュアルの策定や避難訓練等の取り組みが保護者に周知されていない。	・安全管理に関するマニュアルについての説明や閲覧、避難訓練を行っている様子等の発信が足りない。	・マニュアルについては掲示や閲覧等工夫すると共に、保護者に説明を行っていく。避難訓練の様子は今年度、写真を掲示したが更なる発信を工夫していく。
3	・児童・保護者が抱える悩み・課題の把握が難しい。	・悩みや課題を聞いても、月1回の利用の為、聞くだけで終わってしまう。	・保護者の悩み、本人の困り感をSSTに取り入れる等、専門療法士と連携を図っていく。